

IT担当者がいない中小企業のセキュリティ対策(第1回)

狙われる中小企業。セキュリティ対策は「おまかせ」で取り組もう

2022.02.28



今やサイバー攻撃の対象は大企業だけでなく、中小企業にも広がっています。しかし、中小企業の多くは、人材やノウハウの不足から十分なセキュリティ対策ができていないのが実情です。では、多様化するサイバー攻撃にどのように対処すればよいのでしょうか。今回はセキュリティ対策を専門家に「おまかせ」する方法を紹介します。

中小企業はサイバー攻撃に狙われている

電子商取引や決算、生産管理、テレワークなど、ビジネスのあらゆる場面でITの導入が進んでいます。

こうしたビジネスのIT化に伴い、欠かせないのがセキュリティ対策です。不正アクセスやコンピューターウイルスといったサイバー攻撃は、日々複雑かつ多様化しています。サイバー攻撃によって情報の流出や改ざんなどの被害を起してしまうと、自社の信用失墜はもちろん、場合によっては損害賠償問題にまで発展することもあります。

このようなサイバー攻撃は、今や大企業だけではなく、中小企業もターゲットとなっています。まずはセキュリティ対策が手薄な中小企業を狙い、そこから大企業への攻撃につなげていくという、サプライチェーン(商品やサービスの生産から消費まで続く一連の経済活動)を活用した攻撃手法も主流になりつつあります。

そのため、企業が契約を締結する際、相手側に「サイバー攻撃に対するセキュリティ対策をしているか」という点を条件に加えるケースも増えています。

セキュリティ対策に取り組む気がない企業は、ビジネスを続ける資格がない！？… 続きを読む